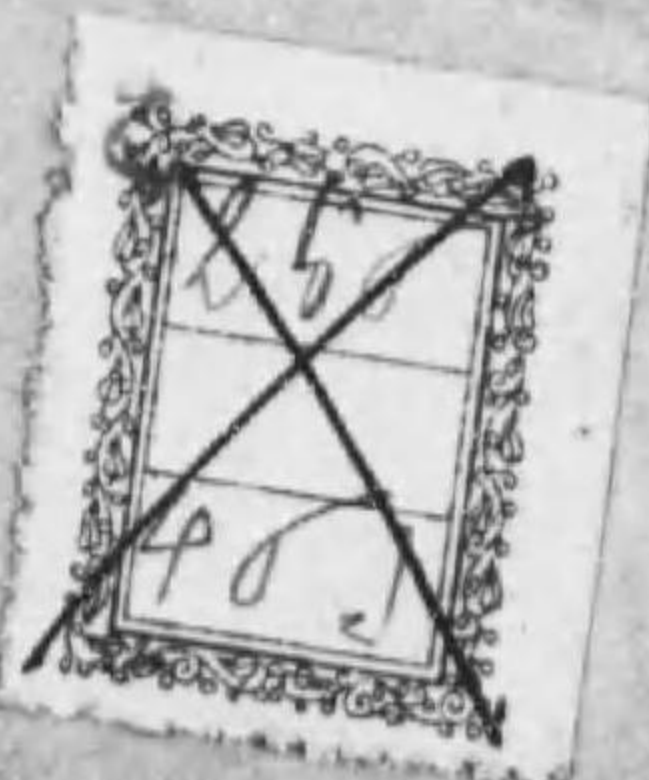


特113

889



始



特113
889



		後シテ	前シテ	別
		阿古木の	漁	翁
		旅		
		僧		
		右同断(又無しにも)		
		着流僧		
		〔面〕瘦男又川途にても 襦 黒頭 着附無地熨斗目 白寄水衣 腰帶 腰袋 扇 網		
			〔面〕三光、朝倉又は笑尉にても 襦 尉髪 着附無地熨斗目 水衣 腰帶 釣竿	
			装	東
			附	
目	番	四	五	類
				別
				浦の漕阿國勢伊
				所
				季
				月

阿漕

内之部巻之六ノ五

阿漕一

大元
5. 4. 7
内交

解説

次第にて、ワキ、同ツレ二人と出で、舞臺に入り向き合ひ。

ワキ一表一 『心づくしの秋風に』 と、謡ふ。道行、着キ濟み、三人ともワキ座に行き座着く。

一聲にて、シテ出で、舞臺に入り謡ふ。

シ一表一 『波ならて、干す隙もなきあま衣』 此處ハツキリ謡ふべし。

ワ二キ一表一 『いかに是なる人に尋ね申すべき事の候』 此處はシテヘカトリて謡ふ。此懸合宜しくありて。

初四表一 『物の名も所によりて變りけり』 初回は軽くつけて謡ふ。

シ五表一 『語つて聞かせ申候べし』 此處にてシテ中へ行き、下に居。『惣じて此所を阿古木が浦と申すは』 と、改めて謡ふ。

浦と申すは』 と、改めて謡ふ。

地六表一 『婆婆にての名にし負ふ』 此地は軽くつけて謡ふべし。

同一 『はづかしや古へを』 此一段タルマの様に謡ふべし。

ロ七ン一キ一地一 『ふしぎや扱は幽霊の』 ロンキは改めて謡ふ。

同八表一 『立添ふ方や瀧火の』 此處よりシテ立ち、中入まで種々形あり、緩急多けれども謡ひ方、口傳。中入、同濟み、待謡につけ出羽持出す。

後シテ、出羽にて出で、摺懸にて留め。

後シテ、出羽にて出で、摺懸にて留め。

同九表一 『あまのかる、葉に住む虫の我からと』 と納めて謡ふべし。

同一〇表一 『今宵は少し浪あれて』 此處より氣を緩へ謡ふ。

同一〇表一 『唯我のみぞあこのうみ』 此處にて舞臺に入り。『猶執心の、綱引かん』 と、カケリ。

同一〇表一 『伊勢の海』 此處ハツキリ謡ふべし。

同一〇表一 『唯罪をのみもち網の』 此地は心してつけて謡ふ。

同一〇表一 『うしみつ過る夜の夢』 此處より又氣を變へ謡ふ。以下シテに種々の形あり、見計ひ謡ふべきなり。

阿漕

第

心持... 乃月... 日... 九...

日向の國... 我

未伊勢大神... 招

... 招

馬

海に由來するものなるに
ちかやまの海に
淡路の海に
標のちかやまの海に
ちかやまの海に
ちかやまの海に
ちかやまの海に

海に由來するものなるに
ちかやまの海に
淡路の海に
標のちかやまの海に
ちかやまの海に
ちかやまの海に
ちかやまの海に

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of items. The text is written on a single page and includes several lines of characters, some of which are underlined or have small symbols above them. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of items. The text is written on a single page and includes several lines of characters, some of which are underlined or have small symbols above them. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect.

Handwritten symbol or character, possibly a page marker or a specific notation.

Handwritten symbol or character, possibly a page marker or a specific notation.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten text in a cursive script, consisting of seven lines of text.

Handwritten text in a cursive script, consisting of seven lines of text.

Small handwritten mark or character.

Small handwritten mark or character.

馬

精進の道は、
 心身を清く、
 行を正しく、
 戒を厳しく、
 定を堅く、
 慧を開く、
 此の道は、
 生死の輪を、
 断つて、
 涅槃の境に、
 至るなり。

精進の道は、
 心身を清く、
 行を正しく、
 戒を厳しく、
 定を堅く、
 慧を開く、
 此の道は、
 生死の輪を、
 断つて、
 涅槃の境に、
 至るなり。

高き山に雲を巻く女
悲おれぬ心は
浦の波に身をまかせ
竹の葉に露をまかせ
松の葉に露をまかせ
松の葉に露をまかせ
松の葉に露をまかせ
松の葉に露をまかせ

夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ
夕暮の影に身をまかせ

はこまききこむ目たきあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ



著作權所有

大正五年四月

四日印刷
九日發行

東京市深川区西平野町一番地

著者 寶生九

東京市日本橋區通四丁目八番地

發行者 江島伊兵衛

東京市日本橋區通四丁目八番地

發行所 椀屋謠曲書肆

東京市神田區皆川町二番地

印刷者 田村茂太郎



大正五年四月四日印刷
九日發行
東京市深川区西平野町一番地
著者 寶生九
東京市日本橋區通四丁目八番地
發行者 江島伊兵衛
東京市日本橋區通四丁目八番地
發行所 椀屋謠曲書肆
東京市神田區皆川町二番地
印刷者 田村茂太郎

終

